

地域とのコミュニケーションで “ふるさと島根”の想いに答える



道の駅を拠点とした地域活性化の取組み促進

- ・ 国道54号沿線「道の駅」の連携施策(サイクリングロード整備)
- ・ 道の駅の防災拠点化



道の駅相互の連携強化による国道9号沿線地域の活性化

- ・ 山陰道や国道9号の沿線地域の活性化が期待



山陰道沿線の道の駅、観光スポットにある電気のマンホールをデザイン化

- ・ 山陰道沿線の道の駅、観光スポットにある電気のマンホールをデザイン化

島根県内の道の駅:29カ所

(R5.4現在)

浜田市	
②②	ゆうひパーク浜田
②③	ゆうひパーク三隅
益田市	
②④	サンエイト美都
②⑤	匹見峡
津和野町	
②⑥	シルクウェイにちはら
②⑦	津和野温泉なごみの里
吉賀町	
②⑧	かきのきむら
②⑨	むいかいち温泉

大田市	
①⑥	ロード銀山
①⑦	ごいせ仁摩
美郷町	
①⑧	グリーンロード大和
江津市	
①⑨	サンピコごうつ
川本町	
②⑩	インフォメーションセンターかわもと
邑南町	
②⑪	瑞穂

出雲市	
⑦	湯の川
⑧	大社ご縁広場
⑨	キララ多伎
雲南市	
⑩	さくらの里きすき
⑪	おろちの里
⑫	掛合の里
⑬	たたらば壺番地
飯南町	
⑭	頓原
⑮	赤来高原

松江市	
①	本庄
②	秋鹿なぎさ公園
安来市	
③	あらエッサ
④	広瀬・富田城
奥出雲町	
⑤	酒蔵奥出雲交流館
⑥	奥出雲おろちループ



「道の駅」の戦略的な連携・活用による中山間地域の活性化

- 尾道松江線の開通による国道54号の交通量減少に伴い、道の駅の売上が低下。沿線地域の衰退が懸念される。
- 4つの道の駅の連携により、沿線地域一帯で共同イベントを実施し、交流を促進。観光者のみならず、「地域の人が集まる道の駅」への再生を目指す。



■ 地域を磨き、地域の価値を高める ■

着眼点

「連携」と「個性化」の増進

歩く・自転車などの人を重視

地域資源・歴史街道の活用

関係機関と連携

連携イベント：サイクリング等



自動運転サービス：赤来高原



歴史街道の活用



二輪専用の駐車場整備



災害対応のローリングストック協定：赤来高原



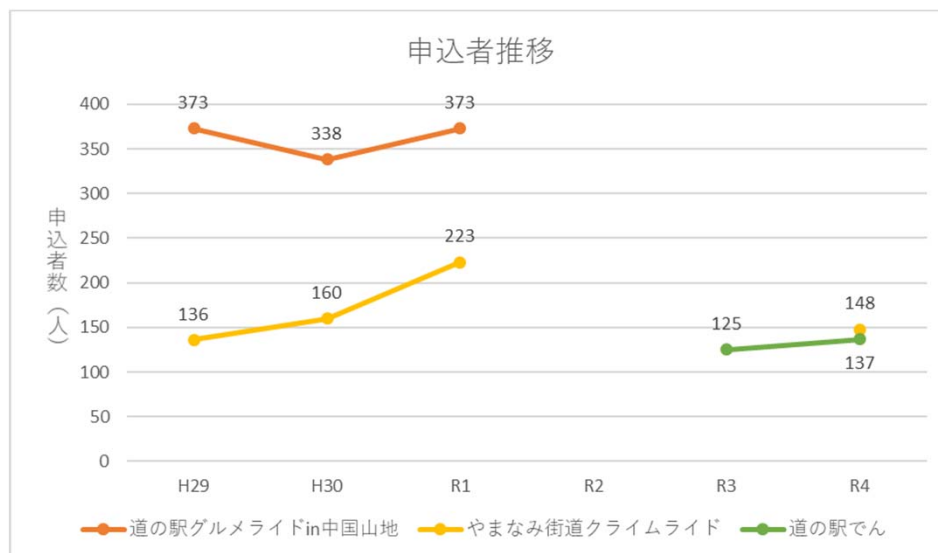
長期保存食を被災者に提供



道路情報を提供

[参考]国道54号を活用したサイクリングイベント

- 地域活性化を目的としたサイクリングイベントが実施されている。
- サイクリングイベントは毎年開催しており年々申込者は増加傾向にある。



第2回道の駅でん(R5.3.11)



第3回クライムライド(R元.8.18)



第4回クライムライド(R4.8.21)



第1回道の駅でん(R4.3.13)

道の駅相互の連携強化による国道9号沿線地域の活性化

- ・ 国道9号や山陰道の沿線地域では、道路沿線に位置する道の駅が休憩・観光・情報発信拠点等として機能している。
- ・ 山陰道が全線開通する前には、道の駅の機能強化や相互連携だけでなく、道の駅と国、地方公共団体（島根県、沿線市町）、商工会議所、観光協会等の関係者が地域間で連携するなどして相乗効果を高めることが重要。それにより、山陰道や国道9号の沿線地域の活性化が期待される。
- ・ 新たな道の駅「ごいせ仁摩」が令和4年1月29日に開業。観光・産業活性化や雇用創出等、地方創生に向けた拠点施設として期待されている。

■山陰道沿線の道の駅



山陰道沿線の地域活性化(デザインマンホール)

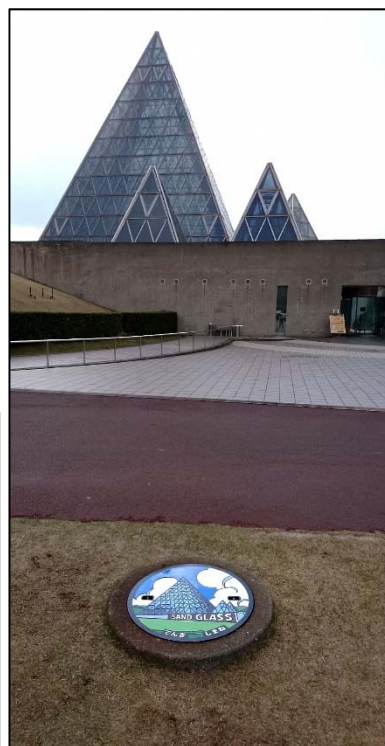
○山陰道沿線の道の駅、観光スポットにある電気のマンホールをデザイン化し、周遊を促します！

【山陰道沿線活性化協議会】による企画により、山陰道沿線の絶景をマンホールにしてみました。

1 道の駅 キララ多伎



2 仁摩サンドミュージアム



3 道の駅 サンピコごうつ



4 道の駅 ゆうひパーク三隅



5 萩・石見空港



【地域】国道54号沿線の地域活性化(デザインマンホール)

- 国道54号沿線の道の駅にある電気のマンホール(3つ)をデザイン化します！
- 山陰道沿線デザインマンホール(参考資料参照)と連携し、国道54号を利用した周遊を促進します！

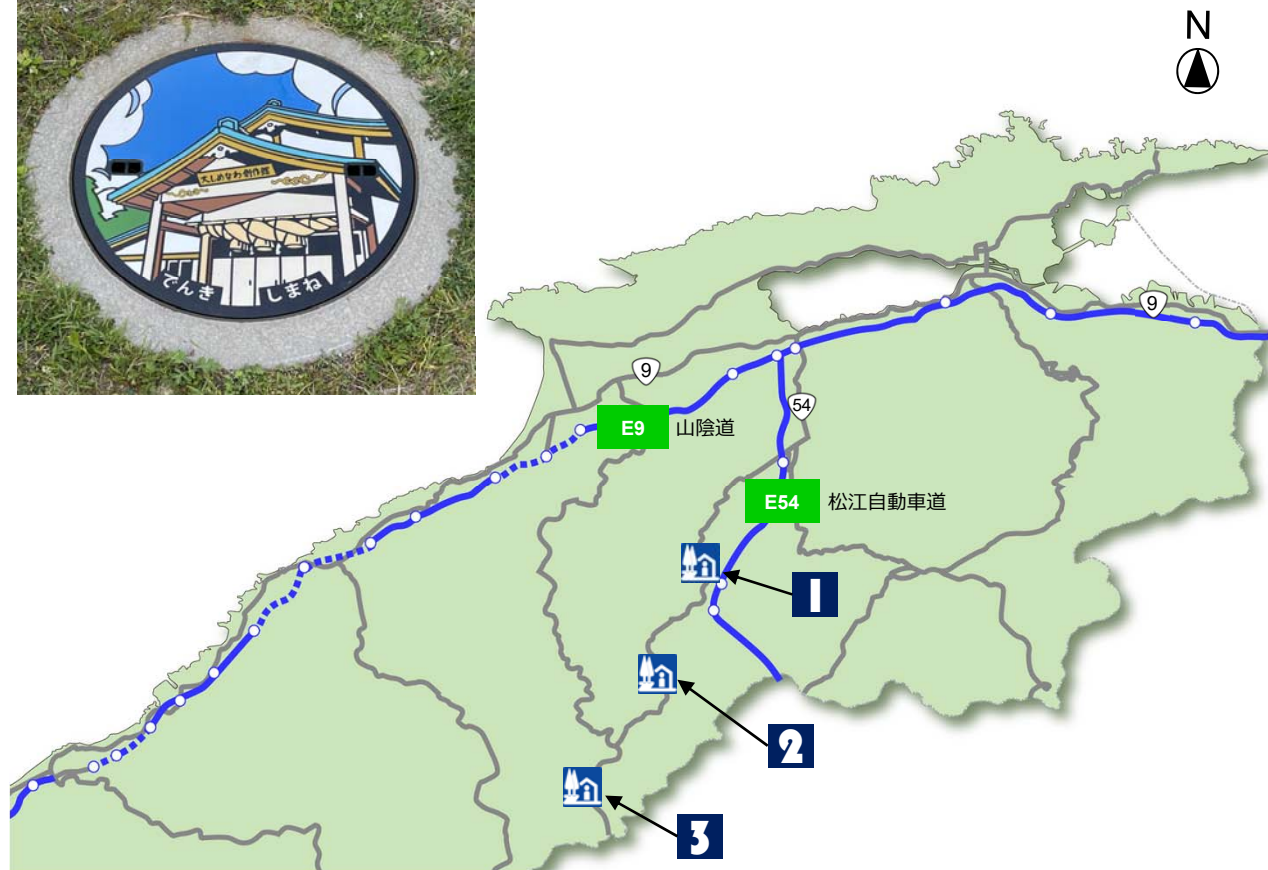
1 道の駅 掛合の里



2 道の駅 頓原



3 道の駅 赤来高原



観光地の多様な移動手段の実現

石見銀山GSM

環境省:IoT技術等を活用したグリースローモビリティの効果的導入実証事業

龍源寺間歩まで片道**500円!**

石見銀山大森町 ぎんざんカート 運行中

Iwamiginzan Silver Mine Omori-Cho
Ginzan Cart

